

2025World ROWING Championships Report 1 (9/16,17)

9月16日(火)

世界選手権日本代表チームは、岩手県田瀬湖ポート場、東京都海の森水上競技場での最終調整後、決戦の地、上海(中国)に向け、成田空港から出発しました。渡航便は多少出発が遅れたものの、17:00に上海浦東空港に到着。その後陸路をバスで移動し宿泊先のホテルに19:30頃に到着いたしました。

ご声援よろしくお願ひ致します！！



左から、W1x 米川 志保 選手(トヨタ自動車)、W4-鈴木 侘奈 選手(NTT 東日本)、W4-高野 晃帆 選手(関西電力)、W4-木野田 沙帆子 選手(明治安田)、W4-榊原 春奈 選手(デンソーオールカリス)



上海 浦東空港から大会組織委員会手配のバスで宿泊先のホテルに移動しました。

9月17日(水)

この日から公式トレーニングがスタートです。朝から気温37度の猛暑です。また、昼過ぎにサンダー
ストームが会場を覆い、一時電も降るとい荒れた天気になりました。

14:30~16:00はコースクローズとなり、水上トレーニング時間は16:00~18:30の間に短縮された
ため、コースは大混雑となりました。



アスリートエリアに入域するにはセキュリティ
チェックがあり、顔認証で通過するシステムになっ
ております。



今大会は暑さを考慮し、日本チームの控室として室
内で1部屋レンタルしております。オリ・パラの拠点で
活用予定です。



順調にセッティングをすすめるW4-クルー。



会場のバス乗り場の様子。大会規模の大きさが
伺えます。

朝からコンテナで持ちこんだ艇・オールなどの荷下ろし、セッティングからのトレーニング、サンダー
ストームとかなり慌ただしい一日となりましたが、準備は着実に進められております。欧州で行われる
大会では、日本チームは早く会場入りする方なのですが、今回はアジア開催ということで、多くの国が
既に会場入りしており、時差調整と暑熱対応を図っているようです。

明日からは、水上での本格的な調整に入ります。